



2013.3.30 復活徹夜際

喜びと平和

助任司祭ニコ・コンデイ神父

皆さん、ご復活、おめでとーございます。
春の喜びがやってきました。世界中の兄弟、姉妹と共に主の復活を祝えることは何と素晴らしいことでしょう。このご復活の喜びにあたり、主イエスは私たち一人ひとりに貴重なメッセージを残しました。それは「あなたたちに、平和があるように」(ヨハネ20・19)というメッセージです。主イエスが与えた「平和」、それは生前のイエスが弟子たちに約束された平和です。その平和は、栄える復活によってもたらされた平和です。この平和を弟子たちに与え、弟子たちを通して、今日、私たちに与えられ、さらに私たちを通して、多くの人々にこの平和を与えることを望みになりました。だからこそ、主イエスは、「平和があるように。父が私を遣わしたように、あなたがたを遣わす」と言われました。また、主イエスは、復活を通じて、人々を罪から解放させることによって、弟子たちに平和を与えられました。弟子たちは、主イエスより与えられた罪をゆるす権威によって、人々に平和を与えられました(ヨハネ20・21)

この平和の二重の意味を私たちは、主に感謝しなければなりません。そして、私たちは弟子たちのように、この復活の喜びと平和を、出会う人々に分かち合わなければなりません。復活された主イエスは、信仰する自分だけの喜びだけでなく、その喜びに触れることがない、多くの人々に伝える使命があります。この復活の喜びと平和を、これから出会う人々に伝えることができるよう努めていきたいと思えます。

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時
聖体礼拝： 土曜日 午後5時30分

主日のミサ時刻：

土曜日 午後2時30分
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時
Sunday Mass in English 9:30 am
(at the Maria Kan Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後3時30分

受洗おめでとうございます



マリア・ローザ	久保 志保美	ジャンヌ	中西 宏美
ヨセフ	小磯 建治	マリア・カタリナ	丸山 美江子
テレジア	近藤 起久子	アントニー	森 直樹
ヨセフ	早川 和浩	フランシスカ	二階 真樹
十字架のヨハネ	鈴木 良隆	フランシスコ	二階 慶太
ローザ	鈴木 慶子	ベロニカ	安達 道子
フランチェスカ	美濃キリコ 加奈子	マリア・グラチア	加藤 亜希子
フランシスコ	滝 正	チェチーリア	岩村 朋子

スカウトバザー

日時：6月9日（日）
午前10時～午後2時

場所：カトリック南山教会

内容：模擬店 喫茶 委託品
缶詰 手芸品
掘出市 等

名古屋第97団

去る3月20日春分の日、97団は可愛いカブ隊5名、ビーバー隊5名を連れて盲導犬育成募金に参加した。折からお彼岸の中日で善男善女が賑わう東別院広場に陣取って、「盲導犬募金に協力して下さい」と声を張り上げた。丁度お孫ちゃんと年恰好が似るスカウトの元気な姿に、おじいちゃんやおばあちゃんが目を細めて募金箱にお金を入れて頂いた。お昼の一時間で5万4千円ほどお金が集まった。大成功！子供達はニコニコしながら南山教会に帰ってきた。ゴクロウサマ！

伊藤 宗太郎

ボーイ97団は盲導犬募金に参加

中高生会春の集い

梅村祥子

中高生会では、3月20日(水)春分の日に、春の集いをしました。十名が集まり、聖霊会のシスター小山から「いのちー尊い宝もの」というテーマでお話を聞きました。「命」と「性」、自分の生き方、生活の仕方、将来の結婚などについて考えるよい機会だったと感想にありました。お話を聞いた後、夕食のカレーを皆で作り、アントニー神父様の司式でミサをしました。夕食にはボクダン神父様も来てくださり、おいしくできたカレーをいただきました。この日の参加者のうち三人は、中高生会を卒業します。高三で受験生であるにもかかわらず、中高生会によく来てくれて中高生会を支えてくれた三人でした。感謝しています。これからも、それぞれの置かれた場で神様から与えられる使命を果たしてゆくことができるよう祈っています。そして、3月23日(土)には、7名の中高生が参加して、長島スパークランドへ行き、楽しいひとときを過ごしました。

新しい年度には、中高生会にたくさんの方が来てくれることを希望しています。一年に一度でもいいですから、中高生会に来てください。待っています。



堅信をうけて

ベルナデッタ 松本 千怜

私は堅信の勉強を通して色々なことを学びました。特に印象に残っているのは、神を愛することです。

神は先に私たちを愛して下さった。神の愛は無償だということだ。初め、目に見えない神をどの様に愛せばいいのかと思いましたが。それは、神の心を行うことよって神を愛することになるということを学びました。

堅信の秘跡を受けて、これからは神の愛に応えられるように自分と同じように隣人を愛し、自分自身をも愛せるような人になりたいと思いました。

そして日々、感謝の気持ちを忘れずに神の子として生きていけるように努力して行きたいと思っています。

WYD in 多治見

ヨハネ・クリズストモ 中尾連三

3月9日から二日間、日本人・ブラジル人・フィリピン人の青年約40人が多治見研修センターに集まりました。そして、先代教皇による世界の青年へのメッセージの

分かち合いや、夜通しの聖体礼拝などが行われ、最後には司教様司式のミサをささげました。

言葉や人種を越えて、互いに信仰について理解を深めることができたように思います。外国人の信徒たちと興味をもって真剣に向き合ったことは、これまであまりなかったもので、感動と発見の多い充実した二日間となりました。

開催実現に向けて尽力された名古屋青少年委員会をはじめとするスタッフの皆さん、また、陰に陽に協力して下さいました神父様やシスター・神学生の皆さんには、心からお礼を申し上げます。



使徒信条の解説



B・ノヴァク神父
7. 生者と死者を裁くために来られます。

ユダヤ人たちは、神が預言者を通して約束してくださった(イザ11・1・19)新たな王国を待望していました。この王国は、メシアによって実現されると確信していたので、ご自分の復活によって、神が遣わしてくださった真のメシアであることを示したイエスに使徒たちは、次のように尋ねました。「主に、イスラエルのために国を建て直してください、この時ですか」(使1・6)。これに答えてイエスは、「父が御自分の権威をもってお定めになった時や時期は、あなたがたの知るところではない。あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。そして、エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人となる。」(使1・7・8)と言

われました。つまり、イスラエルのために国がいつ建て直されるかというのを教える代わりに、イエスは使徒たちを全世界に遣わして、使徒たちがイエスを証しし、福音を宣べ伝え、父と子と聖霊の名によって洗礼を授けることによって、新しい神の民を集め、神の国の建設に協力するという使命を彼らに与えたのです(マタ28・18・19)。十日後に、約束の聖霊が遣わされたことよって、イエスの神秘的なからだである教会が誕生しましたので、この教会を通して、イエスは、成し遂げてくださった救いの賜物をすべての人々に配り、救いの働きを継続しておられるのです。教会の時代は、救いの歴史の最後の段階なのです(1ヨハ2・18)。この期間には、世の終わりまで、つまりイエスがご自分の栄光に包まれて、力を持つて誰にも見えぬ形で再びこの世に來られるときまで続きます。

(ご自分の受難と死、また復活

によってイエスは、すでに人類のすべての罪をあがない、死と悪、神と人間の敵であるサタンに打ち勝ったのです。それから、「天と地の一切の権能を授かって」(マタ28・18)、全世界の真の支配者となられたのです(エフェ1・20・22、4・10、一コリ15・24・27・28)。けれども、イエスは、この権能や権能を有りのまま表しておられないので、イエスの死と復活によつて世界が全然変わっていないような印象、イエスが成し遂げてくださった救いのわざは私たちに何の影響も及ぼしていないような印象を受けても不思議ではないでしょう。どうしてイエスはご自分の権威と権能、また、ご自分の栄光を全面的に表していないのでしょうか。どうして、殆ど目立たずに、隠れているかのように働いておられるのでしょうか。どうして、もうすでに滅ぼしてしまつた敵に働か。を許しておられるのでしょうか。

おそらく、このようなイエスの働き方に、私たちに知らない理由があるのでしょうか、イエスが成し遂げてくださった救いの、しかも、イエスがすべての人々にあずかってもらいたいと望んでおられる救いとは何であるかということ意識すれば、少なくとも一つの大事な理由が分かるのではないかと思えます。この救いとは、三位一体の神と愛の交わりに生きること、そして、人間を神と結ぶ愛が完成されたら、この人が神と一体になるということなのです。ですから、この意味での救いにあずかる唯一の方法というのは、やはり神と人間の間の唯一の仲介者であるイエスを愛すること、この愛によつてイエスと結ばれることなのです。けれども、イエス・キリストが示してくださいました通りに真の愛、つまり完全な一致につながる、二人のペルソナを結ぶ絆となれる愛とは、相手のすべてを受け入れて、自分自身のすべてを相手に与えるものなのです。そのため

に愛は、義理や義務と違って、人間の自由な決断、しかも無条件の決断ですので、誰も、全能者である神さえも、人間を愛す

るように強いることができない時、つまり、人間はイエスを恐れないし、期待している。救いのわざを成し遂げて、誰一人強制的にこの救いにあずかさせることができません。人間は、この救いの賜物を自由に受け入れなければならない、つまり、イエスは、一人の人間として、イエスの死と復活によつて可能になった愛の交わりへの招きに自由に応えなければならないのです。

イエス・キリストは、ご自分の栄光、また、権威と権力を全面的に表したならば、人々は、特にイエスを愛していない人々は、非常に恐れたでしょう。しかしして、イエスを自分の主、自分の支配者として認めて、イエスに聞き従うようになったかもしれない。けれども、彼らの動機は、無条件の愛ではなく、世界の唯一の支配者に繋がることからの利益の欲求か、この支配者に逆らう結果の恐れかであったでしょうが、無条件の愛ではないのです。不完全な人間にとつて、イエスに対する無条件の愛、またこの愛の成長が可能になるのは、イエスの栄光、またその権威と権能が隠れ

うに見えますし、イエスに従うためにいろいろな流行や風潮、また、多くの人々が持っている考え方や価値観に逆らわなければならないので、この生き方について、命の危険も伴います。ですからイエスを本当に信じている人だけ、つまり、イエスに信頼して、自分の命をイエスにゆだねて、イエスを愛している人だけが、イエスの真の弟子、神の国の真の市民になれるのです。(つづく)

運営委員長最終年にあたりまして

運営委員長 泉亨

2010年度から運営委員長を仰せつかり二期4年の最終年を迎えることになりました。

2006年度に運営委員会が正式発足した最初から副委員長を4年務めさせていただき、続けて委員長の職責に就かせていただきました。

今日まで神父様・運営委員会委員の皆様をはじめ、南山教会の信徒の皆様全てのご協力・ご指導のおかげで大きな問題も無

く過ごしてこられたことを、本当に感謝いたします。

運営委員会の組織や活動は、皆様も実感されていると思いますが徐々に組織化体系化され、今ではかなり機能的に働くようになってきていると思います。

一昨年には営繕委員会が発足しました。

昨年からは納骨堂建設に向けたプロジェクトが立ち上がり、今年の11月の竣工に向け間もなく工事が開始されることとなります。

また、防災の日に因んだ避難訓練が恒例化され、昨年11月には救急法の講習会が行われ、皆様のご参加とご協力のもと貴重な経験を積むことができました。

このように、南山教会信徒の皆様が一緒になってより良い教会の営みを目指して様々な取り組みをしておりますが、それでも諸活動を支えていただいている方がまだまだ一部の限られた人に片寄り、南山教会信徒の皆様全体に浸透していきにくいが見受けられるように思います。

2011年9月から毎月第3日曜日の9時半ミサ後のお知らせ

第1回運営委員会

2013年4月7日

報告事項

運営委員長挨拶

挨拶と新任委員のために運営委員会規約を配布し説明する。(4条5条など)

8月のみ運営委員会は休会。

納骨堂申し込み状況と建設計画の進捗状況

納骨堂建設委員会より報告があった。

4月6日の時点で140名の申込みあり。

4月度の教区ニュースに納骨堂の情報が載る。この先増える見込み。近い内に2次募集をかける予定。

入札は、5社から見積もり提出あり。7日15時から審議、発注先を決める。

ヨセフ会全体集会について

4月14日11時よりマリア館ホールにて行う。
神戸氏作成の案に基づいて進行予定。

2012年度のトピックス、および活動報告と、2013年度の活動予定をヨセフ会全体集会にて報告予定。

せの中で、運営委員会の活動構成団体の紹介を行っていただいております。これは今年の5月で一巡して終了しますが、信徒の皆様が各団体の活動内容をご理解いただき、関心をお持ちになり、また、ご参加いただけるきっかけになればと考え始めたことです。何も知らないことの中に入っていくのは大変勇気の要ることですので、その敷居が少しでも低く感じていただければと始めた紹介活動でした。皆様参考になりましたでしょうか。

運営委員長として最後の一年になります。教会の兄弟姉妹がさらに互いの絆を強め、より親しみやすい教会を目指していろいろな活動を行っていきたくて考えております。

もちろん私一人ですることではありません。運営委員会のメンバーを始め、南山教会に集うすべての皆様の奉仕とご協力のもとに進めていきたいと思っておりますので、皆様どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

皆でより素晴らしい南山教会を創造して参りましょう！

神に感謝！

信徒協委員総会

4月21日(日)布池教会にて行われる予定。

坂井氏、小出氏出席予定。

結果を5月の運営委員会にて報告予定。

カトリック会館外階段の修理

業者見積もり12〜13万だったが、営繕委員会手配にて1万2千円で完了。

大聖堂横の水栓から水漏れ

修理費4万円。大聖堂につながる水道管も50年以上経ったもので、将来的に交換が必要。

RASAの会からのお礼

3月3日にマリア館を使用しての体験報告会をさせてもらったことについてお礼の手紙があった。

審議事項

運営委員会の構成

各会代表の確認、委員名簿の正誤チェックをする。複数名の修正あり。

復活祭および聖週間の反省事項

典礼委員会では反省会はまだ実施していない。昨年より参列人数が多く、毎年増えている。

木曜170名、金曜220名、日曜600名(1日トータル)

事前のヨセフ会との打ち合わせが効果的だった。
パーティーは350〜400名

が参加。

イースターエッグの量が多すぎた。残りはパーティー会場に持って来ると良い。

復活祭の案内係が足りなかった。徹夜祭は足りた。

南山教会年間行事の確認

教会の現在確定している年間行事を見渡し、マリア会、ヨセフ会、中高生保護者会など、各行事担当を確認。恒例行事とした避難訓練・救急法講習会の担当者設定など。

ボグダン神父…1週間で最終見直し後、確定をしたい。

泉氏…救急講習会と非難訓練はヨセフ会に担当頂きたい。↓了承(ヨセフ会)

第3日曜ミサ後の各会紹介継続の可否

2年前の9月から実施しているが、各会紹介は5月で終了。

紹介は意義があったかどうかの確認と今後の取り組みについて検討した結果、各会作成の原稿を集め小冊子を作成し、さらに発展的に活動へとつなげていくことに決定。

5月末までにデータをメールで収集。デジタルデータがない場合は紙で収集。

救急法の講習会への準備

7月28日(日)に実施予定。

日赤への依頼や受講者希望集約等の作業のためのプロジェクトチームをヨセフ会で立ち上げる。今後、準備を進める。

納骨堂管理委員会規約内容の検討と承認

配布資料について…もともと半田教会との共同納骨堂の管理委員会はあったが、細則が無く活動内容も良くわからない。今回の建設にあたって、細則を定める。納骨堂管理委員会細則について、案を確認。

5月の運営委員会で問題点を抽出、6月の信徒全体集會にて承認を得て、7月の運営委員会で最終確定をする。

法律によって規制されているので、法律に則って運営していく。信徒全体集會での承認が必要のため、暫定で酒井氏が代表となる。

毎年11月追悼ミサを捧げる。役員任期…マリア会↓1年 ヨセフ会↓2年

泉氏より、配布資料「運営委員会規約の改廃に関する細則」について説明。

インターナショナル・ミサへの協力のお願

5月12日の14時、南山教会大聖堂にて開催予定。

ミサには200名程度が集まる

見込み。

共同祈願「東日本大震災」の意向…南山信徒（典礼委員会）で担当する

侍者…南山信徒の子どもが担当（典礼委員会）
献金…南山信徒担当（ヨセフ会）

オルガン…吉田氏に依頼済み
パーティーについては、会場設営や台所の使用について南山信徒の方に指示をいただきたい。

会場設営はヨセフ会が12時30分から行う。

台所の使用管理は、マリア会が行う。料理は持ち寄りで南山担当はなし。

その他

大聖堂内、長机1台の脚が外れてしまう。営繕委員会にて修理対応。

聖堂内らせん階段の手すりで遊ぶ子供がいるが何とかすべきか。↓対応策なし。親がフォローすべき。

各会報告

ボイススカウト

親子ハイク（BVS・CS）サイクリング（BS・VS）

4月21日（日）愛知牧場にて

参加予定30名

スカウトバザー開催と商品寄付のお願い。

6月9日10時より

掘り出し市、手芸品、新品コーナーに商品の寄付を歓迎します。

典礼委員会

3月16・17日 共同回心式・四旬節の黙想会

指導司祭九里（くのり）師

（カルメル会）

典礼委員会定例会議

（ヨセフ会と聖週間の打ち合わせ）

3月24日 受難の主日

枝の行列

3月28日 聖木曜日

主の晩餐のミサ

3月29日 主の受難の典礼

3月30日 聖土曜日

復活徹夜祭

16名が受洗

3月31日 復活の主日

4月14日 典礼委員会

教会学校

3月17日卒業式

卒業祝いに聖書をプレゼント

4月7日始業式・初聖体説明会

次回は5月5日

4月の各会紹介は4月21日手話の会から

5月掲示板当番は中高生会



3月28日（聖木曜日）洗足式



3月29日（聖金曜日）十字架の礼拝

南山句会

平成二十五年三月六日



手をつなぐ親子の笑顔日脚伸ぶ

とく子

鶯の初音に目覚む旅の宿

眞喜子

大地震の二歳となり初桜

洋子

法皇のご退任なる梅眞白

義子

寒中に勇み野に出る土筆の子

美智子

雛飾る一年振りのご挨拶

紀子

洋風の一品を添へ雛の膳

牧子

春一番子等の吉報待ちにけり

瑞子

主の許へ召されし修女紅椿

せつこ

毎月第一水曜日午後一時半
マリア館二階集会室

信者の消息

転出

いつまでもお元気で

アルノダ 黒木 恵 (瀬戸教会)
アジのフランスコ 奥村浩基 (北白川教会)
アグネス 水野悦子 (半田教会)

帰天

ご冥福をお祈りいたします

3月 3日 ビンセンソ 宇澤重正 (71歳)
3月21日 エリザベス 久松ヨシノ (102歳)



3月31日ニコ神父様、3年間で有難うございました。

教会

3月は1.828.718円の維持費が納められました。有難うございました。

維持費

教会の維持・運営・宣教活動は、教会信者全員が毎月納める維持費によってまかなわれますので、よろしくお願ひします。

2013年4月・5月行事予定表

	教会典礼歴	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
4月	7(日) 神のいつくしみの主日	21(日) 子供のミサ	5(金)マリア会例会(懇談会) 7(日)運営委員会 7(日)教会学校・初聖体説明会 7(日)中高生会始業式 14(日)典礼委員会 14(日)ヨセフ会全体集会 14(日)ヨセフ会班長会 20(土)10:30子ども部屋 27(土)要約筆記付きミサ	7(日)信徒協献金 21(日)召命祈願日 29(金)宣司評総会
5月	聖母の月 12(日) 主の昇天 19(日) 聖霊降臨の主日 26(日) 三位一体の主日	(決算書の承認) 12(日)マリア祭の聖母行列(9:15) (母の日) 19(日)天使ミサ日英合同ミサ(9:30) 19(日)教会美化・BBQ 決算書提出	5(日)運営委員会 10(金)マリア会例会(懇談会) 12(日)典礼委員会 12(日)ヨセフ会班長会 18(土)10:30子ども部屋 25(土)要約筆記付きミサ	5(日)世界広報の日・献金日 16(木)司祭協議会 26(日)わだち祭り (恵方町教会)